

度を撰ぶべきである。其の加熱時間は一方に於て起りつゝある脆化作用を考慮して或る限度に止むべきである。

(5) 本研究類似の低合金鋼に對しては 325°C 前後の焼戻は絶対に避けねばならぬ。

終りに本研究に對しては陸軍少將尾藤加勢士閣下、杉本正邦、長尾武雄兩大佐殿の御指示と山口珪次先生の御教示を賜た。茲に厚く御禮を申し上げ又本實驗中熱誠をこめて助力せられた本多忍君に感謝の意を表する次第である。

物資動員計畫と生産擴充計畫

(昭和 13 年 12 月 16 日日本鐵鋼協會講演會)

植村 甲 午 郎*

緒 言

只今御紹介戴きました植村でございます。甚だ申譯ないのでありますが、此の頃多忙を極めて居りまして、何か御話することを御引受したに拘らず準備なしに此の演壇に上たやうな譯でありまして、色々御聴き苦しい所があらうと思ひますが、其の點は枉げて御諒承願ひたいと思ひます。

今日御話申上げるのはもう既に相當御承知のことと思ひますが、物資動員計畫の問題或はまだ是は未定のものであつて、内容が確定して居りませぬから、其の内容に付て彼是申上げる譯にも参りませぬが、只今の大きい問題として長期建設と云ふ風なことが言はれますが、それとの關聯に於て生産力擴充計畫問題と、其の二つに於て若干の時間を戴きたいと思ひます。

物資動員計畫

そこで、物資動員計畫の問題でありますが、是は所謂物動計畫として、色々な物の統制が行はれて居りますのは御承知の所でございます、此の物動計畫なるものが如何なる経過を辿て、又現状如何であるか、又將來の見透し、是は全く個人的の氣持でありますけれども、差當りどう云ふ風に動いて行くであらうかと云ふ御話を致しますが、其の前に此の物動計畫なるものがどう云ふやうになって設定されるか、又實施されるかを頭に置いて戴きたいのです。

で、此の物資動員の計畫は、先づ企畫院で各關係省の擔當官が集りまして、そこで資金の關係と需要の關係を見合

て、來年の計畫はどうすると云ふことが決るのであります。之に付きましては或は物資協議會と云ふ名前を用ひましたり、只今は物資動員委員會と云ふ名前を用ひて居りますが關係各省協議を遂げ成案を得まして最後には閣議に上して國としての物に關する計畫の大綱が決ります。さうしますとそれに基いて内地に付きましては商工省の物資調整局、又肥料と云ふやうな問題になりますと農林省が之を擔當して實施に當る。それから外地に付きましては朝鮮は朝鮮總督府、臺灣は臺灣總督府と云ふやうに、それぞれの擔任廳に於きまして其の大綱に基いた具體的の實施をやる譯であります。従ひまして大綱迄は企畫院中心で審議致しますが、此の時期に於て、大阪の何處で物をどれだけ渡すと云ふやうなことは、是は皆商工省、更に其の下としては各府縣廳、組合と云ふ所で検討されましてそれが實施される。さう云ふ仕組みで出來て居るのであります。そこで、此の物資動員計畫と云ふものは只今迄に 2 回樹てられて居ります。それは本年の 1 月に第 1 次の物資動員計畫を樹てました。其の後半年を経て 6 月に改訂を致しました。2 回行はれて此の改訂の計畫が只今動いて居る。斯う御承知を願ひます。

そこで、さう云ふ計畫が樹てられますに至る経過を概要申上げたい。其の前に、此の事變の前の日本の經濟狀況殊に外國との關係に於ける經濟狀況と云ふものがどうなつて居たか、是は日本の經濟がどう動いて居たかと云ふ問題になります。之を一言にして云へば、國際貿易に依て日本の經濟が繁榮し、又國民生活の向上をそれに依てやつて居た。少くとも其の部分が相當あると云ふことが言へると思ふのであります。此の貿易の關係としましては御承知のやうに世界大戰以來歐洲の國が、更に多數の小國に民族

* 内閣企畫院産業部長

自決主義の名の下に分れました。そこに、それぞれ獨立國でありますから、關稅の障壁等が出来ること云ふやうなことが又大戰中にまだ工業の興て居りませぬ國、或は甚だ幼稚であつた大戰參加國以外の國々、參加して居りまして、例へば濠洲であるとか或は印度であるとか、其の他此の東洋、南米と云ふ様な地方の國々の工業が大戦中に非常に勃興致しました。従てそこに従來は貿易で行はれたことが自分の國で物が出来るやうになつて貿易が少くなつた。さう云ふやうな根本の原因と、先程申上げた歐洲諸國は小國に分れてしまつて、其處に貿易障礙が出来る。さう云ふことから、世界貿易と云ふ觀點から見ますと、非常にダウン、カーブを辿て來た。最近の10年間位を取て見ましても1927年頃の情勢と比較して見ますと最近は5~6割と云ふ位の世界貿易の總量であります。然るに日本の貿易はどう云ふ形であつたかと申しますと、是は申上げる迄もなく非常な上昇を致しました。昭和9年には輸出が21億、輸入が22億8,000萬圓、大體22億程度輸出入それぞれあつたのであります。11年の統計を見ますと、それが27,8億になつて居る。其のやうに各國何れも沈淪して居る所を非常な上昇を見て居る譯であります。それで、是は結局我が優秀なる大和民族が其の勤勉と頭腦とを以て廉價にして良質の物を作って外へ出すからだらうと思ふのであります。其の受取或は支拂の關係と云ふものがどうなつて行くか、假りに棉花を例に取つて考へて見ますと、此の12年には棉花の輸入が8億5,000萬圓ありました。それから製品の輸出が7億4,600萬圓、さうすると1億餘りが支拂になる。併ながら1億餘りが支拂になりますけれども、此の8億5,000萬圓の棉花を輸入して我々が着物を着て居る譯であります。其の譯を考へなければならぬ。結局其の數字がどうなりますか、假りに輸出を6割、國內消費を4割と云ふやうなことで考へて見ますと、此の103,000,000圓の正貨を向ふに送りまして、さうして5億見當のものが得られて居ると云ふやうな形になると思ふのであります。と申しますのは、我々矢張り普通の時でありますれば、着物を着なくちやならぬのでありますから、何處かで買はなくちやならぬ。さうするとそれが5億見當のものになつて來る。さうすると、それを1億で賄て居た。4億に近いものが貿易で防がれて居たと云ふやうにも見られるのであります。其の外例へば生絲の4億圓以上の輸出であるとか、或は絹織物の7,000萬圓と云ふやうな、其の他色々なものがございますが、さう云ふ輸出に於て國內の必

要な資材を輸入して居た。所が一方所謂資源の賦存狀況から考へて見ますと、御承知のやうに鐵鑛石に致しましては又非鐵金屬に致しましては非常なものを輸入しなければならぬ。外國に存依する部分が非常に多い、又機械工業方面に付きましては尙ほ我が國の機械工業の發達程度では、相當量の輸入をしなければ平時でもいけないと云ふやうな狀況になつて居ります。是が我が國が斯う云ふ大きな事變に入ります前の現状であります。そこで、さう云ふ國柄の所が此の事變に入て來た。其の時にどう云ふ狀況になつて來るか、此の事變が今年の夏に勃發致しまするや、御承知のやうに當初に於きましては、不擴大主義、現地解決主義が採られた譯であります。成程或る程度の準備はしなくちやならぬだらうと思ふ。併しながら政府の方針としては不擴大主義で行くのである。さうすれば大體さう大きくはならない。又上海へ出兵になる。さう澤山はやるんぢやない。矢張り彼處の關係が向ふからやつて來たのであるからそれに對しての反撃をただけである。南京が落ちればそれで大體終熄するであらうと云ふのが全般の空氣であり、殊に當初に於ては不擴大主義が相當徹底して居たと思ふのであります。そこで、私共としては従來のさう云ふことを研究させられて居たのでありますから、斯うでもしたらと云ふ案は大分前から研究はして居りましたけれども、具體的に本當に動き出さない。其の中に上海の出兵になる。南京攻略が行はれるやうになつて來ますと、是は矢張り相當考へて行かなければならぬと云ふことが、政府としても本當の方針として採られるやうになつて參りました。そこで今年の秋から丁度企畫院が出来たのであります。其の時から動員計畫をやらうと云ふので、準備に掛りまして、それが纏りましたのが本年の1月の閣議で決定したのであります。是が先程申上げた第一次の物動計畫であります。第一次の物動計畫をやります時の氣持を申しますと是は先の見透しでありますから、假定が入る譯であります。大體貿易は11年程度位のものには維持をするし、維持が出来る。それから國際情勢の變化に付ては現状以上に悪くならない、時局はもう少し進展はしても併しながら只今行はれて居るやうなことは實は豫想されて居なかつたのだらうと思ひます。さう云ふ風な狀況で第一次の物動計畫が編まれたのであります。其の時の私共の氣持としましては、貿易は何とかして充分に輸出するやうになつて呉れ、さうすれば問題は國際收支のバランスの點であるからして大きなスケールで出る方と入る方と打合せることが出来る

さうすれば國民生活としてはさう苦しまないで、極く軽度の統制で行くぢやないか、是が一番其の當時の状況としては適當ではないかと云ふわけであります。其の程度と云ふものは御承知のステープル・ファイバーの割混紡と云ふ程度の統制であります。それでやってみたのであります、所が非常な大きな情勢の變化が丁度具合の悪い方に二つとも動くやうに起きて來たのであります。其の一つは戦局が非常に擴大され、従て軍需の要求が非常に大きくなって來た。是が一つであります。それからもう一つは貿易が非常に悪くなって來た。此の原因に付きましては内外何れも原因がある譯であります。一つは、外的には世界的の不況、殊にアメリカが景氣が悪いと云ふこと、それから華僑の排日、其の他日本に對する感情が好なくなつて來たと云ふ大きな原因があります。又國內的にも此の統制經濟の始まつた當初でありますから、どうしても原料、資材等の配給が工合好く行かない、又物價が昂騰して來て採算的に引合はない。そんな風な内外の原因が働いて貿易が非常に巧く行かなくなつて來た。其の程度と云ふものは現狀に於ても中々思ふ様に改善されないものであります。1位の圓ブロック外の貿易が減つて來た。それが急激に見えて來たのであります。そこで、先程も申しましたが、昭和11年の輸出は26億9,000萬圓、是の1/2と云ふと相當巨額なものになります。兎に角1/2程度の貿易が減つて來た。尤も26億9,000萬圓の中には現在の圓ブロック向の物が入居りますから、もう少し額は少くなりますが、何にせよ1/2の貿易が減つて來ると云ふことは非常に大きな相違を生ずる譯であります。それから軍需が非常に大きくなって來た。南京攻略の後を想像して戴くと分るのであります。徐州が攻略され、更に漢口に及び、更に廣東に及び、そのプレリュードとして出て來るものは先づさう云ふ風な攻略をやつて行く準備でありますから、直ぐに大きな物資の需要が出て來た。必然的に前の計畫を改訂する必要を生じたのであります。一般民需に對しては觀念的には餘す所ないと云ふ位迄に節約が強調され、又統制を加へなくちやならぬと云ふことになって來たのであります。詰り軍需用の物資、それから輸出品の原材料、是は何れにせよ確保しなくちやならぬ。其の他のものになりますと、例へば特別な醫藥品類であるとか云ふやうな。國民生活のどうしても必要なものだけに限で、普通のものに付ては、殆ど輸入しない。例へば先程も棉の例を申しましたが、現在に於て國內供給用の綿布と云ふものは一つも織

てない譯であります、唯特免と稱する特別用途のものに棉花が振向けられるのであります。普通の着物用と云ふやうな綿布は一つも織てないと云ふ風に、總べての物に付て徹底的な節約をして行かなくちやならぬ。それで、先づ片方では輸出が減つた爲に生ずる輸入資金の減をカバーし、又一方非常に大きくなつた軍需をカバーする。斯う云ふことになって只今の物動計畫が動いて居る次第でございます。

そこで、さう云ふ風な計畫が樹てられますと、今度はその実施方策と云ふものが行はれなくちやならぬ。是は分類致しますれば極めて簡單でありまして、一つは増産或は代用品の生産に務める。又古屑の回収に務めると云ふやうな物資の供給を増加して行く問題と、それからもう一つは消費の統制をし、節約をして行く、それから其の中には現にある物を能率的に運用する、さう云ふ意味で配給の統制と云ふやうなことが行はれる譯であります。結局今商工省の物資調整局あたりで色々行はれて、又協會に御關係の方は色々面倒な統制に依つて縛られて居らっしゃると思ひますが、其の動きと云ふものは只今申上げた三つのラインを出て居ない譯であります。

そこで、是からが將來又は來年はどうだらうと云ふ問題になるのであります。此の點は何と申しますか、決定しない以上ははつきりしたことを責任を以て申上げることは出來ない。唯私の卒直な感じを申上げて見たいと思ひます。其の根底として此の事變の現段階と云ふ風なものがどう云ふ段階に來て居るだらうか、是は私の自己流の解釋でありますから、左様御承知を御願ひ致します。

現在に於ては一方で大きな會戦は此の漢口會戦を以て終たかに見えますが、相當後方の治安の確保と云ふ意味に於て戦闘が尙行はれて居ります。そこに所謂長期建設と云ふものが始まつて來た。此の二つが結び付いて居る。そこで、長期建設と云ふことを言ふ、又或は東亞に於ける新秩序の確立と云ふことが云はれるが、其の意味如何と云ふ問題であります。此の點に付きましては色々或は之を精神的に文化的に見た場合の意義であるとか或は軍事上から見た意義であるとか、色々な見方があらうと思ひますが、私は産業のことに関係して居りますので、さう云ふ風な見地からだけ幾らか觀察をして見たい。さうしますと結論から申上げますれば、長期建設と云ふことで、現段階に於て核心を爲す問題は何かと云ふことになると、生産力の擴充と云ふ問題、それから或は北支、中支等の現地に於ける治

安の状況等に應じた開發である。而して生産力の擴充と云ふ點に付ては、色々の觀點上視角から根本的に考へなければならぬ時期に達して居る。只今私の方で案を纏めつゝあります。従てさう云ふ點は確定する迄は未だ御話するのが適當でないかも知りませぬが、卒直に、申し上げますと、目下考へられて居る計畫は重工業中心の生産力擴充であります

生産擴充計畫

そこで、一體生産力擴充と云ふのはどう云ふことかと云ふ問題になるのであります、外の色んな、農業關係もありませうし、又平和産業と稱せられる部分、殊に大きな輸出工業である繊維工業等に付ては生産が制限されて居る貌になつて居ります。斯う云ふ點に付てどう云ふことをやるのか、又綜合國力の擴充と云へばさう云ふ全般に亘て行はなければならぬ。色んな議論があらうと思ひます。そこで其の點に付て私の考へて居りますのは此の支那事變と云ふものは相當長く續く、是は能く申しますが、開闢以來の大事件でありますし、又我々と致しましては、祖先に對し又子孫に對して充分責任の持てる立派なことをやつて行かなくちやならぬ大きな問題だと思ひます。而して支那事變の目的達成の大業は途中で止める譯に行かない問題であります。能く例に申すのであります、丁度川を泳いで渡つて居るやうなものぢやないか、今半分か7分か知りませぬが、相當の所を泳いで泳ぎ切つて居る。彼岸には王道樂土があるのであります、之をもう七分通りで、もう此の邊で宜からうと云ふので止める譯に行かない。止めれば流されてしまつて沈没してしまふ。兎に角向ふに泳ぎ付かなければならぬ、詰り乗り掛た以上はやり切らなくちやならぬ事態だと思ひます。そこで、どう云ふことを……それでは先づ第一著に考へるかと思ふ所に歸しますが、あれだけの大きな大陸と云ふものを挾んで、其處に新しい秩序を建設するには經濟に文化に種々の努力を要しますが同時に相當の實力を以て睨みを利かすことも現状に於ては絶対に必要と考へられます。又同時に國際情勢を考へますと、或は北に對する備へ、南に對する備へ、色んな諸點から、是亦相當の軍備の擴充を要する、此の支那事變を本當に乗切る爲には我々はどうしても現實の當面の事變處理と云ふものをやると同時に、充實した軍備を持つことを手始めにやらなければならぬのであります。

そこで、それを持つ必要があると斯う決たと致しまして、現在の日本の工業の狀態でそれが出来るかと云ふ問題

に逢着するのであります。是は隨分最近に於ては長足の發達を致しましたし、又此の事變が始まりましてからもそれぞれ所用の部分に付ては大擴張が行はれた。併しながら此の現状を以てしますと、どうしても重工業部門、鐵、燃料、非鐵金屬並に機械と云ふやうな方面に付てはまだ力の足りない點が多いと云ふことになるのでありまして、どうしても基礎になる工業が必要である、工業の中で特に重工業の部門が相應した力に發達して來なければ軍備と云ふものは本當に打建てられない、斯う云ふやうな意味から只今私共の考へて居ります生産力の擴充計畫と云ふものは外のものも勿論入て居りますけれども、只今の重工業中心主義の生産力擴充を考へて居ります、そこで今度は物に歸つて申しますが、さう云ふ風な一方では戰闘は相當行はれて居る。同時に生産力の擴充を或る方面に付て極力遂行して行かなければならぬ。それが此の長期建設に踏み出す土臺の工事である。斯う云ふことになりまますから、それを物に代へて考へて見ますと、矢張り戰爭資材に類したやうなものが澤山要る。或は建設の材料であるとか機械であるとか云ふやうなものが非常に要る譯であります。そこで、此の物動計畫と云ふものに付きましてもなかなか緩和すると云ふやうな傾向にはなつて參らないと思ふのであります。端的に來年の狀況はどうであらうかと云ふことになりまますと現状よりももう少し統制を強化して行かなければならぬと云ふやうな狀況で推移するのではないか、此の14年、來年は苦しいと申しましたが、是は又他の意味から行きましても、苦しくても大いに乗切らなくちやならぬ問題になつて來ると思ひます。詰り此の事變が第二段階に入たと申しますが、私共の見方から見ますと、所謂經濟戰の形を本當に取つて來るのは是からぢやないか、或る意味から云て此の戰爭が第一線と同時に國內に移つて居るのぢやないか、斯う思ふのであります。結局此の日本の經濟力と云ふものを土臺にして、それを十分に活用しまして、さうして此の長期建設、又當面の用に當て行く爲には、國內に付ては相當の統制強化もありませうし、國民一般としては或は苦痛を感じるかも知れぬ、それを乗切て行くことが是からの一番大切な問題である。或は外交交渉其の他の關係から見ましても、所謂經濟壓迫と云ふやうな形は、段々日本が弱て來たであらうと云ふ豫想の下に強化されぬものでもありませぬ。矢張りさう云ふ場合のことを考へて見ると、是から此の皇軍將士の非常な犠牲に依つて獲得された戰果を全うして行く爲に、此の戰局を立派に收めて行く

爲には、國內の戦争、此の經濟戰に對する國民の覺悟と云ふやうなものが非常な大切な意味を持って來るんぢやないか。戦争の始また當初から皆一生懸命でありまするが、其の時は一方には急速な需要もありまするし、氣も立て居るし、先づ緩むなんと云ふ虞れはないのでありまするが、今一番大切な時になつて來て、或は來年はそろそろ緩和されさうなものだと云ふやうな氣持が起きて幾らか緩むと云ふやうなことになりますと、是亦一大事で、是からが一番大切な時機ぢやないかと思ふのであります。それぢやどの位苦しくなるかと云ふ問題になりますと、是は一方から云ひますると生易しい程度のものかとも思ひます。生易しいと云ふ言葉を用ひて誤解を生じては困りますが、現在の統制段階に於ても、私は平和産業の各方面等に於ては非常な苦痛を舐めて居られる、其の方々の犠牲に對しては是は非常に氣の毒にも思ひ、又能く政府の國策にも順應されて居る點に於ては深く感謝する次第でありまするが、併ながら歐洲大戰中の各國の狀況と云ふやうなものを考へて見ますれば、是亦格段の差があるのではないかと14年に於ては相

當假りに強化されると致しましても之を歐洲大戰中の交戦國の2、3年経た時の狀況等を考へて見ますると、まあ生易しいと云ふことが言へるんぢやないかと思ふのであります。少くとも食糧に於て非常に恵まれて……食糧の制限を受けないと云ふことは是だけでも餘程樂なものでありまするが、外の物資等に付きましても、どう考へて見ても歐洲大戰中のドイツ、フランス或はイギリスと云ふやうな所の狀況と比較して見れば大したことはないと思ふことになるのではないかと、是だけの大きな戦争をして、又開關以來の大業に發足したのでありますから其の位のことは堪へて行かなければならぬし、日本の實力を算定して見ますれば、充分に戦ひ抜くだけの實力はあるし、又國民としてもそれだけの覺悟は持て居ると信ずる次第であります。

甚だ雑駁で申譯ありませぬが、卒直に私の今只仕事をやつて居ります關係で持ちました感じを皆様御披露し、今後とも政府の政策が色々出て參るかも知れませぬが、充分なる御理解を以て御協力あらむことを熱望して已まない次第でございます。(拍手)

業者鐵鋼報國に邁進 今日の世界を支配するものは、鐵と油と石炭と稱され、なかんづく鐵はその第1位に數へられてゐる。ドイツの産業四ヶ年計畫の主演として活躍しつゝあるレープ大佐は、鐵の重要性について「金も爲替も、それが必要なだけの鐵を調達し得ないから、鐵こそ遙かに貴重なものだ」と述べてゐるが、これは今日の時代に於いて最も示唆に富む言葉である。況してわが國の如く振古未曾有の大戦局に當面せる國においては、ますます鐵の重要性が加重せられてゐる。即ち鐵は彈丸となり、飛行機となり、戦車となり、あるひはその他の兵器となつて、戦闘力を生むものである。その他平和産業においても、その使用範圍極めて廣汎にして、われらの日常生活に不可欠のものとなり、鐵の使用量によつて、一國の文化を卜するに足るときへ稱されてゐる。かくのごとく重要性を帯ぶ鐵でありながら、わが國においては自給自足の域に達しないため、政府においてはさきに増産五ヶ年計畫を樹て、官民一致銳意これが増産に努力すると共に、一面においては鐵の消費節約を行ひ、特に鐵鋼工作物建造に對しては許可制を設くる等、頗る緊迫した状態にある。増産計畫としては各製鐵所の熔鑪増設を勸奨した。これに對應して日鐵、日本鋼管、釜山製鐵、小倉製鋼、中山鐵鋼等直ちにその増設に着手し、すでに火入れを行つたものが多い。アウト・サイダーとしての第1位にある日本鋼管の如きは、日産400t一臺(第三高爐)を昨年春に火入れ済となり、さらに近く第四高爐(日産600t)および轉爐の増設をなすことになり、目下捗々しく建設進行中である。豫定通り運べば、十五年下期には操業開始となる。而して以上の大擴張が實現の曉には製鉄原料として一ヶ年の鑛石約120萬噸を要するが、これについては同社も可なり苦心を拂つてゐる。然し現在及び將來の國情に鑑みて、如何にしても急激に増産の必要があるので、同社は原鑛獲得に萬全の策を講ずるは勿論、さらに第五高爐、第六高爐の計畫を樹てゐる。このために要する原鑛は200萬噸以上に達する見込である。而してこの鑛石は、内地、中支、南洋各方面から集める豫定で目下その工作中である。

此ほか朝鮮からも買鑛し、内地では昭和鑛業その他投資會社を通じて小鐵山の探掘計畫を進めてゐる。また南洋方面においては、その子會社たる南洋鐵鑛を動員してマンガン鑛山を開發させ、ニューカレドニアの鑛石も輸入することになつてゐる。かくして同社の社是たる鉄鑛一貫作業はますます強化せられる譯である。然るに事變の進展に伴ひ、鐵鋼統制はいよいよ強化せられ、軍需資材の優先的配給はますます増大の傾向を示し、従つて一般需要の鐵鋼はその配給並に消費を一層制限せられ、殊に廣東及び武漢三鎮陥落後、本格的な新東亞建設の時代に入り、此の統制は一段と強化の一途を辿るに至り、各製鐵業者は、國策順應のため悲壯の決心を以てその使命遂行に當つた。日本鋼管の如きは、率先して同業者と共に終始よく政府の指導方針に順應し生産割當の分野において極力生産の擴充に努力し、これが實現のためには、前記の如く工場設備に種々の改善擴張を行ひ、能率増進と共に、一面低廉なる諸原料の買付け及び資源の確保に努めたその結果業績極めて順調に進み、附屬事業たるトーマス製鋼工場及び副産物肥料工場も亦頗る良好の成績を擧げてゐる。殊に同社の従業員が戦時下における事業の重要性を深く認識して、産業報國の實を擧ぐべく「産業戰士」としての信念の下に精勵恪勤しつゝある様は、まことに涙ぐまじきものがある。今や世界情勢はあたかも第二次世界大戰の前夜を思はしむるまでに緊迫し、正に一觸即發の危機を孕んでゐる。即ち歐洲においては、獨・伊の躍進を阻止せんとする英・佛の妨害によつて、北歐及びバルカンに戦争勃發の危機を生じ、米國またしきりに英・佛に策應して獨・伊牽制にあたり、極東においては、支那事變を契機として微妙なる空氣が動きつゝあつて、勢の赴くところ餘斷を許さない。而して世界各國はこの情勢に對處するため全力を擧げて軍備の大擴張に狂奔し、従つて軍器製造の主要資材たる鐵鋼の獲得に大奮となつてゐる。現にアメリカの如きは、わが國に對する鐵屑輸出を禁止せんとするのみならず、進んで武器の輸出をも禁止しようとする情勢を醸成してゐる。かくる國際的及び國內的情勢の下におかれたるわが國鐵鋼事業はますますその使命に重大性を加へてきてゐる。しかも幸にしてわが國鐵鋼業者が、官民協力一致のもとに飛躍的進展を示しつゝあることはまことに意を強うするに足るが一般國民も亦、鐵鋼の重要性に鑑みてこれが確保に協力すべきである。

なほ燃料國策として今議會に於て600萬圓の獎勵金交付を受けたる日石はじめ各石油會社の試掘井増加のため油井鑛等の注文激増し同社は國策上一日も忽諾にすべからずとし、大鑛工場の大擴張を進捗中であるが本年10月中に完成の筈である。(東日、4月13日)